

數回會合調査の結果一の覺書を調製し之を總理大臣に提出すると同時に余輩數名同大臣を訪問し意見を陳述し置きたるも、未だ具體的結果を見るに到らず此事に關しては多分其月の會誌に於て其顛末を會員諸君に報告することを得へきかと思はるゝ(終)

所謂鐵問題

西澤 公雄

米國鐵禁輸問題の發生するや朝野戰兢震懾一大恐慌を惹起し殊に造船家の周章狼狽は殆んど其極度に達するを見たり、予は十數年前より製鐵積極論者にして力の許す限り此事業の擴張を切望し既に業に幾度か當局に進言し又江湖に訴へしも、如何せん眼前直接其吃緊を感ぜざる事業の性質として世人の注意を喚起すること至尠なりしか、歐洲戰の勃發以來漸く社會を覺醒し製鐵は國家存立の基礎として一意之れか發展を策するもの日に多を加ふるに至れり、實に朝野同音疾聲大呼未曾有に鐵業を尊重する今日の狀況をして今十數年否六七年早からしめんならば、歐洲戰爭の影響も之れ無かるべく米國鐵禁輸案も却て各國生存競争の結果なりとして左まで我國民を刺激せざりしならん、米國との交渉は豫想の通り兩者の意見懸殊し遂に中止するの不得已に至れり於此我國人は鐵の自給問題に就て極力突進するの臍を固め、恰も予の十數年前の意見と一致を見たるは轉た今昔の感なくんはあらず、吾人は當に自製自給策を提て飽までも前進するにあり之を必成するに餘力を殘さるへし斯くして國家を泰山の安に置くべく列國の虛曷威脅も遂に其及す所なかるへきなり、製鐵の基礎を確立する第一の要素は鐵鑛にして之れ無くんは如何に國民熱血を灑くも果た辛酸若楚を

嘗むるも遂に徒勞に屬せん、故に製鐵自給問題の裏面には必ず鐵鑛の有無緊急件として存在す此に於て鐵鑛の精密なる調査必要を生ぜり、鐵鑛の調査を爲すに方り單に水面以上の露頭のみを計算し品質六十%以上に限るものあり或は磷、硫黃の含有量は萬分千分以下に限制するあり、固より孰れの國と雖とも採掘の容易にして經費の最少なるを謳歌するは鑛業經濟の原則にして之に満足を與ふるものは水準以上の露頭なるへく、品質成分に於ても鐵分の多き丈け銑鐵の生産を多くすへく、磷、硫黃、銅の含有量の少き丈け生産物の品位を高むるは當然にして亦喋々の餘地を存せずと雖とも、不純物含有の最小にして六十%以上の鐵鑛は所謂世界の最良鑛石に屬し無盡藏を望むへからず、既に最良の鑛石量にして一定の制限ありとすれば最良ならざる鐵鑛の調査も亦極て必要なるものなり、殊に水準以下の含有量を豫め測定するは製鐵事業の永遠目的に對して等閑視すへきにあらず、今や世界の製鐵術は日進月歩百般の研究を盡し科學上の粹を採り工業經濟の要を摘み能く不良の鑛石を選別して良好ならしむ、故に三十%底の鐵鑛をも寧ろ之を歡迎需要するに至れり我國製鐵家の無暗に最良鑛石のみ選擇するに比して頗る軒輊あるを覺ふ。

經濟的製法の發明に伴ひ今日の粗鑛は明日の良鑛となり今年の鑛滓は明年の有利鑛石として需要さるゝなきを保せず、佐渡の金山は其例證の最も顯著なるものにして製鐵上に於ても亦其例乏しからず大冶鐵山の鐵滓は平均五十二%の鐵分を含有す、之を列國の鐵鑛に對比すれば仍ほ良好なる原料鑛石として算するを得へし、要は製鐵科學の向上進歩するに伴ひ廢棄不顧の鑛石も自ら其用途を發見するに至るものにして徒に粗惡の鑛石として之れか調査研究を怠るか如きは吾人の最も三思省慮すへきものなり。

隣邦支那は鐵鑛石炭の包藏量に於て世界の未知數に係れり、近年列國人の調査に伴ひ兩者の包藏の決して鮮少なからざるを覺ふ然り支那に在て予か知り得る範圍に於て、石炭と鐵鑛とは頗る多量に

現在し尙熱誠なる調査探鑛を進むるに随ひ更に多大の包藏を發見すへき前兆傾向を有す。

日支親善なる言葉は御世辭にあらず、畢竟兩國國民の肝膽相照的交情を指示するものにして兩國の共有する運命に順ひ國利民福を増進し、世界列國の競争裏に立て能く東亞の基礎を確立し其勢力を維持するを要す従て兩國たるもの有無相通し緩急相應し所謂通工易事を以て商工業を振興せしめざるへからず、鐵鑛已に支那に多く我資本と技術とは能く之を開採して支那を富ましむると同時に我も亦利益を均霑し得へし、常に同文同種唇齒輔車の陳套語を口にするのみにて暗に排日排支の舉動あるか如きは徹頭徹尾吾人の嫌忌する處にして飽迄斯る行爲は今日に於ても果た將來に於ても之を排斥せざるへからず、若し兩國人にして腹藏なき真正なる親善を訂結したりとせん歟日支合辦事業の勃興何ぞ其遲きを憂へん予は兩國國民の多數か虚心坦懷深く東亞兩國の立場を知悉し私利私慾の念を去て専心一意、製鐵事業に合辦案を決行し兵器の獨立工業原料の自給策を果斷計劃せんことを希望するものなり、殊に支那鑛石の如きは此際細心の注意を用て露頭以下及其水準下に沒藏せる鑛量をも試錐法を以て豫め之を精査し置くの必要あり、世の一部の人士の水平以下の鑛石は其採掘に多大なる經費を要するの故を以て之を測量するを愚となすものあるも、歐米の大鐵山の水準以下に掘進みて優に有利的に鑛石を供給し製鐵業を營めるものあるを見れば地下の鑛石必しも精査の價值なしとせんや、要するに鑛石の最良露頭の採掘を選ふ間は科學の幼稚を暴露する確證にして決して誇るべきことにあらず。

支那の鑛石を使用すれば一朝事あるに臨み一度制海權の亡失に由て原料を得るに途なく製鐵の事業自ら中止の悲運に陥り敵の跋扈跳梁に國を委するを懸念するものあるも、外國とは言へ支那は全然一衣帶水の隣邦にして其距離極めて短少海軍にして少しく意を用ふれば制海權を敵人に委すること勿るべく、鑛石銑鐵運搬に些少の阻碍亦可無之若し其れ支那と戰端を開く場合を豫想する一部

論者の如きは日支親善の眞意義を了解せざる者にして畢竟極端なる杞憂の言のみ、吾人は斯る不吉の言語は苟くも之を口にするすら慊忌するものにして蓋し兩國民の親睦一家の如き境遇にあればなり。

我同盟國なる英國は比較的粗惡原料に富み最良鑛石を缺乏す、然れども科學の進歩は能く此不良鑛石より良質の銑鐵を製出す然かも自國に乏しき原料は之を悉く諸外國より輸入して併用す、此一事は單に英國のみにあらず米國獨逸皆然らざるなし。

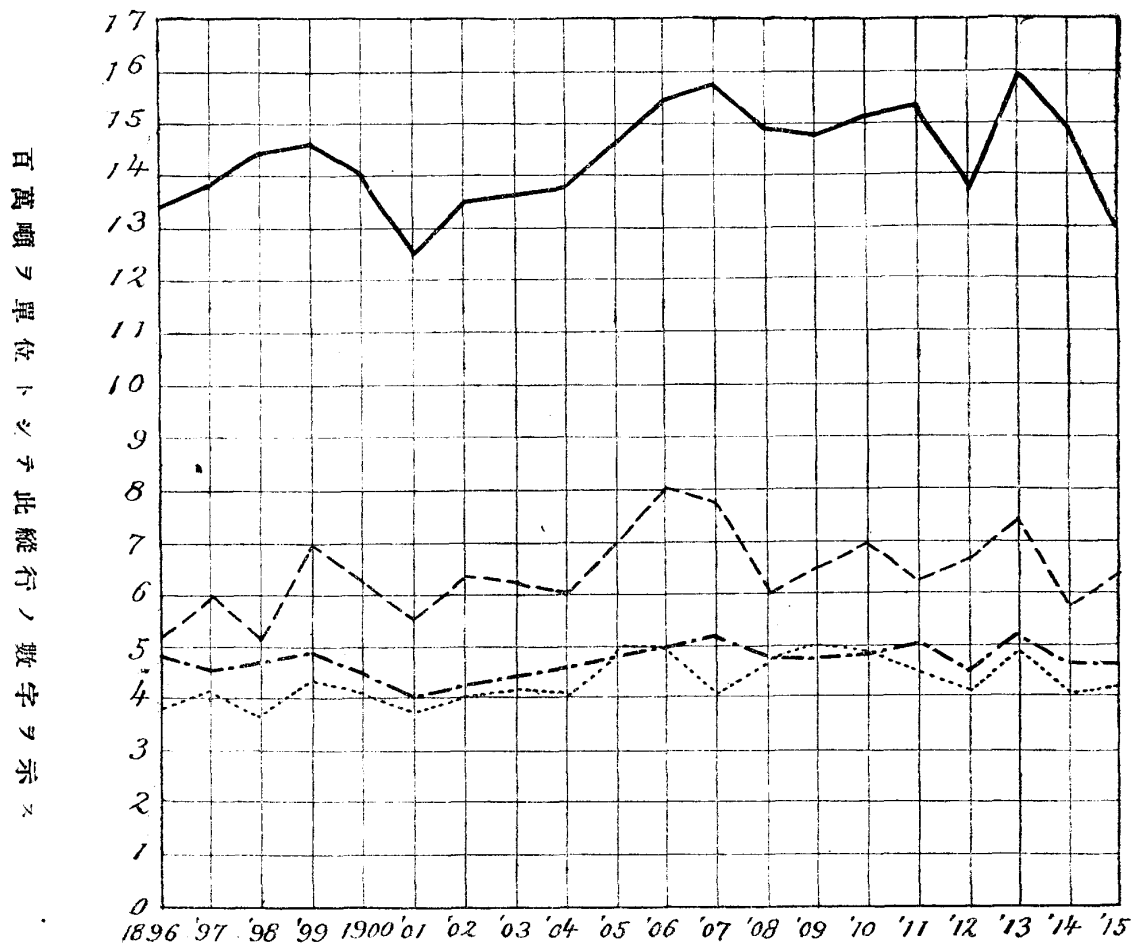
千九百十五年に於ける英國の鐵鑛(自國)採掘は二十九地方より千四百九十一萬二千六百十二噸を産し、外國より輸入せる鐵鑛六百十九萬七千五百五十五噸に達す而して銑鐵の製造高は自國鐵鑛より四百五十六萬七千三百五十一噸、外國鐵鑛より四百十五萬千〇五十一噸にして自國鐵鑛は銑鐵平均三十%留り外國鐵鑛は銑鐵平均六十%留なるを算知し得へく、以て英國鐵鑛の如何に鐵分含有量の鮮少なるを覺知し得へし。

千九百十三年英國か海外より購入せる鐵鑛の種類及噸數を揭示して製鐵上原料は自國に乏しきも毫も憂慮すへきものにあらざるを證明す。

國名	鐵鑛	マンガネ鐵鑛	硫化鐵鑛
スペイン	四、五二五、八四三	一八八、一九六	五五九、九一〇
アルゼリン	七五九、四六一	三、七九七	一
ノールウエー	四八七、七九九	一	一三三、九二五
スエーデン	三六六、六九一	一	一
フランス	三二七、二三四	一	三〇
チュニス	二七九、〇七一	一	一
ギリース	二〇三、六四三	一三、四九九	一
ニュフオンドランド	一〇〇、三四六	一	九、五二六

所謂鐵問題ノ附圖

英國ノ製鐵狀況



—————	千八百九十六年以後千九百十五年ニ至ル二十年間英國自國ヨリ採掘セル鐵鑛
- - - - -	外國ヨリ輸入セル鐵鑛
- . - . -	英國鐵鑛ヨリ製出セシ銑鐵量
.....	輸入鐵鑛ヨリ製出セシ銑鐵量

ボルテユガル	七五、二九四		七五、九九三
ロシヤ			
ニューゼーランド	二七、三三〇		
ベルギー	二三、一五五		
チリ	一三、七七八		
カナダ	一一、五四二		
イタリ	一〇、八五三		
獨逸	一〇、三八七		
アジヤトルコ	三、五四三		
其他の諸國	四、六三六	六、一五一	八二七
合計	七、二三〇、六〇五	二二一、六四四	七八一、七一

自製自給の大方針を確定し所謂背水の陣を張り旗鼓堂々唯進むを知りて退くを知らざるに於ては鑛石の成分につきて餘り選り好みをする贅澤も起らさるべく、運搬距離の多少を云々する議論もなかるへし要するに國人悉く畢世の智謀を奮ひ速に製鐵自給策の大成に努力し原料鑛石の査覈に熱中するを要す、蓋し一國の生命たる製鐵事業の振興に發奮するは吾人の義務にして斷乎として萎縮退嬰を許さしれはなり。

内地の製鐵事業を獎勵保護する手段も亦必要にして吾人は自給策の徹底に至るまで殊に其吃緊なるを言はんと欲するものなり、自由貿易を製鐵事業に應用したる結果は列國悉く失敗の跡を止む今後原料の調査に銳進して餘力を残さず、且つ合辦問題の爲に百方謀計を圍み東亞製鐵業の基礎を堅立し自製自給少くとも製鐵上東亞の獨立を得んと欲するには保護貿易主義の下に關稅の一大増徴を斷行するの必要あるべし。(終)(附表參照)